

令和8年度 通信教育実施計画

松陰高等学校（本校／各学習センター）

教科	科目	単位数	履修上の留意点			
地理歴史	地理総合	2	必修科目			
指導 目標	(1)地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。					
	(2)地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。					
	(3)地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。					
教科書		副教材等		添削指導	面接指導	
地理総合				6回	2 単位時間	
多様なメディアを利用した学習による 面接指導時間数の減免実施の有無		☐ 実施している	多様なメディアを利用した学習 による減免後の面接指導時間数		該当なし	
☐ 実施していない						
添削指導（レポート）						
回	学習内容				対応する 面接指導の回	提出期限
1	さまざまな地図の特徴と実際の地球の姿の異なる点を踏まえて、地図情報を活用する知識を身につける。 領土、領域について理解し、実際の社会的な事象と結び付けて考える。				1	5月13日
2	交通機関や情報通信網の発達とそれにもなう社会の変化を学ぶ。 世界の多様な文化について学び、文化・民族とは何かを理解する。 世界の貿易の変化や、日本のこれまでの動向とこれからの課題について学ぶ。				1	6月6日
3	世界の大地形について、プレートの動きとあわせて学習する。 外的影響が地形にどのような影響を与えているかを学習する。 地形や気候が人々の暮らしに与える影響について理解する。				1	7月4日
4	食生活や農業の地理的分布について学習する。 先進国、新興国、発展途上国の工業の特色や工業立地について学習する。 中国、韓国、トルコ、ロシア、アメリカ合衆国、ラテンアメリカの地誌について学習する。				2	10月21日
5	人口問題と居住・都市問題、食料問題について、先進国と発展途上国の抱える異なる事情・課題を理解する。 各地で発生する民族問題・紛争について学習する。 持続可能な社会の実現について、身近な課題から主体的に考える。				2	11月11日
6	日本の地形や気候の特徴について学ぶ。 自然災害について、日本の地形や気候と関連づけて理解し、防災・減災のために身近な生活の中でできることを把握する。 地域調査を行うための手法を身につける。				2	12月5日
面接指導(スクーリング)						
回	単位時間	学習内容			実施場所	実施日
1		日常生活の中で地図を活用し、地理学習の内容を深めるための基礎的な知識を学ぶと同時に、利用が促進されるデジタル地図を主体的に利用するための基礎的な知識を学ぶ。 生活文化の多様性と国際理解についての基礎知識を学ぶ。結びつく現代世界における、国家群や課題について学習する。 世界の気候区分の分布や気温、雨温図を比べ、それぞれの気候区分の特徴について基本的な知識を身につける。また、それぞれの気候に住む人々の暮らしについての理解を深める。 生活文化と自然環境について学ぶ。多彩な地形に対する知識の深め、その地形ならではの暮らしの特徴や工夫について理解する。			各学習センター	6月
2		世界の食生活と農業の分布について学習する。また、工業立地の特徴と近年の変化についてまとめる。また、情報産業の発達と生活文化の変化について考察する。 宗教と人々の暮らしについて学習し、世界宗教の特徴をまとめる。また、地球のエネルギーや資源・環境問題について、原因、現状を知り、自分たちはどのような行動をするべきかを考える。 日本の自然環境について知り、自然災害に備えて防災意識を身につける。 人口問題について資料を元に学習し、国・地域の人口構成の特徴や課題について考える。また、発展途上国や先進国の都市問題や民族問題・地球的課題について学習し、持続可能な社会の実現にむけて問題意識を持つ。			各学習センター	11月
多様なメディアを利用した学習						
計画段階では実施予定なし						
試験						
回数	試験範囲				実施場所	実施日
1	レポート1～3				各学習センター	9月
2	レポート4～6				各学習センター	2月
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準						
添削指導、面接指導、試験の結果を総合的に評価する。						
所定の添削課題の提出、面接指導の受講、試験の受験を満たし、学習成果が認められる場合に単位を認定する。						
その他						
各学習センターでは、本校の通信教育実施計画及び指示に従い実施する。施設状況や生徒の状況等に応じて日程・実施方法を調整する場合も、本校の承認又は指示のもと、指導内容・評価・単位認定基準に変更が生じない範囲で対応する。						